

インフルエンザが猛威をふるっている。本校でも、先週 21 日の金曜日だけ、インフルエンザにより 5 年生の学級閉鎖を実施した▼ 5 年生の子には、申し訳なかったが、その日は、全校で北勢線に乗って、遠足に出かけた。前日の時点で、電車に乗って行くことには、リスクがあるということで、校内や近くの公園などで、過ごしてはどうかという選択肢も考えた▼これまで阿下喜小学校では、感染症や改修工事を理由に何かをやめることなく、どうしたらできるのかを考えてきた。この哲学は健在だった。最終判断は当日の朝に延期し、先生方は、どうしたら電車に乗って行けるのかいわゆる感染対策を考えた▼前日から全員マスク着用。給食時は、班の形をやめ、できるだけ密を避けることになった。その一方で、もし電車に乗れない場合の代替遠足案の準備をすすめた。▼当日は新たな欠席者もなく、電車に乗る前、降りる前には手指消毒を徹底。電車の中では、おしゃべりをしない。もちろんマスク着用。歩く時は、一列（登下校時は安全上そうであるが・・）▼心配していたのは、本日の欠席状況。新たに感染した子ではなく、インフルエンザで休んでいる子は、全校のうち 5 人、 3 % の発生率。先生方の指導と子どもたちがルールを守ってくれたおかげ▼今日から通常に戻ったが、通常に戻るとそれはそれで、心配。なにしろ、学校の石鹼が減らない。